

帯広市立愛国小学校 学校だより



あいこく

令和6年10月31日(木)発行 No.15 文責 校長 合田 真晃

学校教育目標

豊かな心で協力しあえる子ども
自ら学び創造し深く考える子ども
何ことにも進んでやりぬく強い子ども

エリアで深める絆

帯広市では、義務教育9年間の学びの連続性や系統性に配慮した一貫性のある教育活動を充実させるため、「エリア・ファミリー」での取組を推進しています。愛国小学校は七中エリアに属し、第七中学校と大正小学校と連携した取組をこれまでも行っているところですが、

この取組は、どのエリアでもまずは中学校との縦のつながりに重点が置かれますが、七中エリアでは進学時にほとんどの子がクラスメートとなる横のつながりも強めようということで、大正小と連携した取組も充実させてきています。学校だよりNO.12では、5・6年生が乗物利用学習の際に一輪車を通じた交流を行ったことをお伝えしましたが、その他の学年もしっかりと交流を進めてきています。

先日は5年生が宿泊学習で1泊2日を共にし、より一層絆を深めたところです。



宿泊学習では、愛国小企画のレクが大成功！みんなの笑顔で互いの距離がぐっと縮まった瞬間でした。

今後、1～4年生は演劇の鑑賞を一緒に行う予定です。また、6年生は大正小の「キャリアUP!教育」に参加し、様々な職業の人から将来の生き方について学んでくる予定です。同じ地域の学校同士だからこそその絆を計画的に深めていきたいです。

ぜひご視聴ください！

10月20日に、千歳市で全道のPTA研究大会が行われました。その中で、『下町ロケット』のモデルとなった植松努さんによる講演「思うは招く」があったのですが、ぜひ保護者や地域みなさんにも聞いてほしい大変素晴らしい講演でした。11月4日～30日までオンデマンドで配信されるそうなので、以下からぜひアクセスしてみてください。

<https://ishikari-pta-chitose2024.com/>
パスワード ptaishikari2024

「夢の叶え方」「子どもたちとの接し方」など、きっとみなさんの心に響くものがあるはずです。

11月の行事予定

1	金	
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	ALT
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	放課後子ども広場 PTA 施設部環境整備
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	学習発表会総練習
14	木	
15	金	学習発表会
16	土	
17	日	市P連「子育て未来フェス2024」
18	月	
19	火	就学時健康診断
20	水	ナウマン号
21	木	
22	金	ALT
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	
26	火	七中エリアサミット(児童会事務局) 国際交流(メキシコ:5・6年) 交流学習(1～4年演劇鑑賞)
27	水	給食費納入日 国際交流(ベトナム:3・4年) 市小中学校適正計画説明会・意見交換会(保護者向)
28	木	児童会◎ 図書ポラ読み聞かせ(5・6年)
29	金	クラブ④ 市小中学校適正計画説明会・意見交換会(地域向け)
30	土	放課後子ども広場

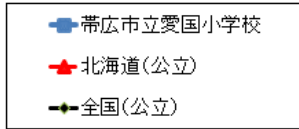
「愛国っ子」の学び 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

令和6年4月18日(木)に、全国の小学校第6学年児童を対象に実施した標記調査について、本校の結果の概要をお知らせいたします。今年度は、国語、算数の2教科と質問調査による実施でした。

(質問調査は4月24日にオンラインにて実施)

教科に関する調査

レーダーチャートの見方



算数

◎「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る」こと、「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する」ことがよくできています。

▽「球の直径の長ささと立方体の一辺の長さの関係性を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す」こと、「角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する」ことに課題が見られました。

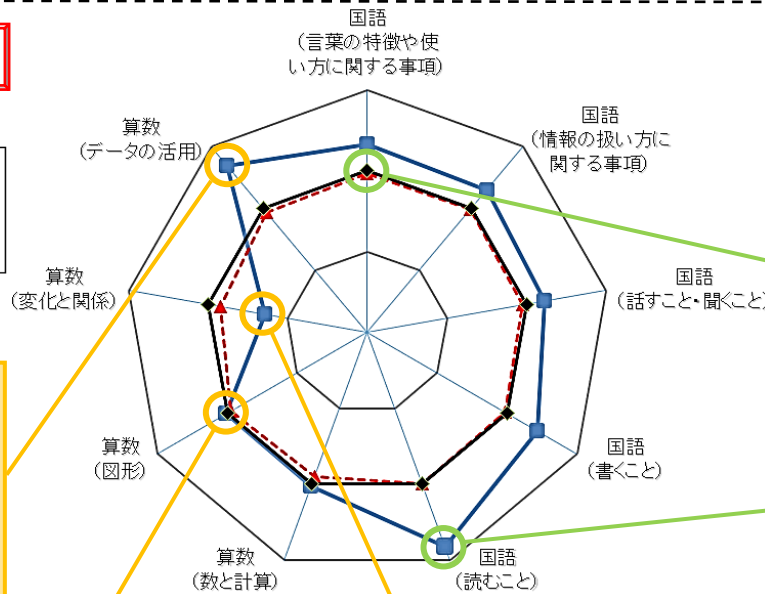
◎速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することがよくできています。

▽「道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を記述する」こと、「速さの意味について理解する」ことに課題が見られました。

国語

◎「漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる設問」の正答率は高いものの、「文の中における主語と述語との関係を捉える」ことに課題が見られました。

◎「物語の登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える」こと、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする」ことがよくできています。



国語・算数ともに無回答はなく、ねばり強く考える力が身についています。成果・課題が見られた単元や領域、各学年の学習内容について、系統立てた指導を充実させます。

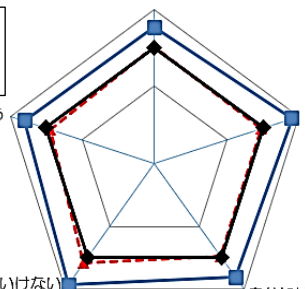
今後も、自分の考えを書いたり伝え合ったりする場面を設定し、書く力・話す力・聞く力を高めます。また、朝学習や朝の会、帰りの会でトークトレーニングに取り組むなど、あたたかく聞き合える雰囲気づくりも継続します。

児童質問紙より

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う

そう思う、どちらかと言えばそう思うと答えた児童の割合

学校に行くのは楽しいと思う



分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると思う

◎学校評価アンケートと同様に、「学校は楽しい」「自分にはよいところがある」「進んで学習に取り組んでいる」等、子どもたちが自らを肯定的にとらえ、前向きに過ごしていることがわかりました。

○家庭学習の習慣がついています。家庭学習の手引きを参考に、学年×10分+αを目安として、継続して取組を続けてほしいと思います。

今後も、子どもたちの更なる意欲を引き出しながら、教師から「教わる」授業から、自ら「学ぶ」授業への転換を図ります。

ご家庭におかれましては、引き続き、学習する時間帯を決めるなど、学びやすい環境づくりと励ましの言葉がけをお願いします。

全国学力・学習状況調査は、学校が指導の成果を確かめることにより、今後の課題を明確にし、児童一人一人に応じた指導方法の工夫・改善を図ることを主な目的としています。

本校では、調査を受けた児童の人数が少ないことから、各問題の結果をそのまま「学校の傾向」としていくことは難しいと考えます。したがって、共通して確認できる結果については、学校全体で共有し、よさを伸ばすことや課題解決に向けた授業改善を行います。また、引き続き、以下の3点について取り組みます。

- ①児童一人一人に応じた指導方法の工夫改善を図ります。
- ②家庭と連携し、家庭学習の習慣づけを図ります。
- ③帯広第七中学校区エリアの学校や地域と連携し、教育活動の充実を図ります。